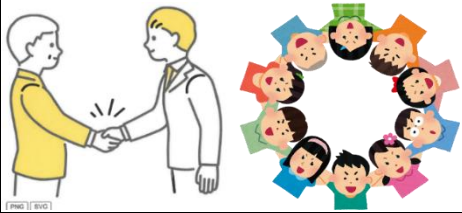


第4章 活動計画

公民館が取り組むべき活動を、基本方針別、活動分野別の「活動計画」として定めます。基本方針「4つの‘あい’」を、関連性のある「であい」と「ふれあい」、「まなびあい」と「たかめあい」のグループに分けて、幅広い学習効果の期待できる事業活動の実施を目指します。

1 活動計画

基本方針 活動分野	であい・ふれあい	まなびあい・たかめあい
		
文化活動	○幅広い年齢層を対象とする事業の実施 ○参加者相互の交流、仲間づくりに資する事業の実施	○地域の伝統文化、歴史、自然環境を学び、次世代に継承する事業の実施 ○文化、教養を高め、幅広い視野を持ち、ともに学び合える事業の実施
スポーツ活動	○幅広い年齢層が気軽に楽しめるスポーツの普及・促進 ○参加者相互の交流、仲間づくりに資する事業の実施 ○地域住民の健康維持・増進の促進	○利用サークルやスポーツ関連団体との連携による公民館事業の地域への普及 ○地域のスポーツ・レクリエーション活動の充実による「であい・ふれあい」の深化
青少年活動	○学校等との連携によるより効果的な青少年事業の実施 ○青少年のニーズの把握と事業への反映による公民館活動への参加促進 ○さまざまな学習機会や体験活動の充実による社会参加へのきっかけづくり	○親と子、高齢者と青少年の交流を深める事業の実施 ○青少年が主体的に参画できる事業の実施 ○地域の青少年団体への協力、支援による青少年の自主的な活動の促進
広報活動	○公民館報、ホームページ、SNSなどを駆使した公民館活	○地域住民、専門部員と共に行う手づくり感のある広報発行

	動の魅力的、効果的な発信 ○東林公民館イメージキャラクター「トーリー君」によるイメージ戦略	○他館の館報や類似広報誌などの調査・研究による館報のレベルアップ
図書室活動	○利用者ニーズを把握した蔵書の充実 ○だれもが気持ちよく利用できる図書室	○図書室活動と公民館事業との相互連携による相乗効果
サークル活動	○公民館のルールやマナーを理解し、だれもが快適に利用できる公民館の実現	○サークル活動の活性化 ○利用団体、サークルと公民館活動の連携によるさまざまな学習環境の提供
学級活動	○地域の人たちが出会い、生き生きと生活できる事業	○地域の生活課題や地域ニーズを踏まえよりよい地域づくりを目指す事業

2 留意すべき視点

事業活動を推進するにあたり、第2次相模原市教育振興計画などを踏まえ、とくに次の点に留意します。

(1) ICTの活用

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により公民館事業の中止が余儀なくされる中、リモート機器の活用によるオンラインの利点も認識されるようになってきました。

公民館の学びの中心である「対面による取組」と「オンラインによる取組」との組合せにより、学びの機会提供の可能性を広げていきます。

(2) 子どもの居場所づくり

子どもが地域の中で安心して過ごすことができるように、子どもの居場所としての役割を担える公民館事業を実施するとともに、子どもの居場所づくりに取り組む団体への支援などの取組みを進めていきます。

(3) 家庭教育支援

少子化や地域のつながりの希薄化などによる親子の孤立化、親世代の交流機会の減少など家庭教育をとりまく課題をとらえ、社会福祉協議会、学校その他関連団体とも連携しながら、家庭教育支援の視点をさらに取り入れていきます。